

# 碩心

可認風岳吟学院詩吟社  
發行會心碩  
法人 神奈川

現在會員數  
3年7月 171名  
逗子地区  
葉山地区 249名  
大船地区 49名  
(合計) 469名

号(228号)  
3年7月 發行者  
根岸岳萃  
編輯者  
中村愛岳

平成三年度

## 碩心會理事會議事録

日時・平成3年6月8日(土)18時30分より  
場所・逗子市桜山下會館

加藤常任理事の司会にて、定刻、加藤副会長の開会の辞により開会、千葉常任理事の指揮で「碩心の詩」を合吟、つづいて根岸會長及び三井相談役の挨拶があり議事に入った。

(正・副議長並びに書記任命)

司会者一任により、議長に根岸會長、副議長に加藤副會長が任命され、書記に宇都宮本部長が任命された。

(議事)

一、各地区長及び各部長報告

逗子地区長 千葉劔岳

◇現會員一七一名で、老齡化して辞める會員が多くなっている中で、多少でも増員しているのは喜ばしい。今後も増員に努めたい。上部組織の仕事がある為、地区長の仕事は実質的には清水副地区長が処理している。

◇入退會届は地区長を経由することになってるのが最近では乱れているが、実情に合う様

検討する必要ありと思う。

葉山地区長 沼田義岳

◇今年の地区温習会は葉山地区が担当で、11月24日をめどとして、逗子市立図書館ホールを予定しているのでご協力を願います。

◇総務部からの諸種の行事についての問合わせは15日間位の余裕を以てやって頂きたい。

大船地区長(副) 岩崎恵岳

◇木村地区長欠席の為、代って報告します。依然として會員の増員は仲々進まず、地区吟道温習会も他地区のご協力で漸く実施している状態であるが、今後も増員に努力していくのでよろしく。

総務部長 加藤圭岳

◇配布書類の確認と訂正。

◇来年の55周年記念大会の準備中である。平成4年6月7日(日)葉山町福祉文化會館を予定している。

◇新入會員の會費納入額及び入退會届の新ホーム使用について要請した。(詳細は「吟道」)

企画部長 竹石憲岳

◇関東地区指導者研修会、夏季吟道講座、指導者吟法講座、高段者吟道講座の予定につい

て説明（詳細は「吟道」）

◇吟詠教本（漢詩篇・その1・その2・和歌篇）の希望申込みは松井正風方へ。

許証部長 中村幸岳

◇秋の昇段審査は9月16日（月）葉山真名瀬会館で行う。2月皆伝以上の審査合格者には5月1日付で認許される。

広報部長 中村愛岳

◇寄稿が少ないので毎月編集に苦勞しているの  
で、魅力ある「碩心」にする為、一層の寄稿  
協力をお願いする。

◇予定、報告事項等できるだけ早く掲載した  
い。予算があれば写真の掲載等して内容刷新  
を図りたいのだが…。

企画部長（副）松井正風

◇昨年11月23日寒河江吟友会との懇親会、今  
年1月13日初吟会（253名参加）4月13日～14  
日諏訪地藏寺墓参吟行会（73名参加）には皆  
さんの協力を頂き感謝する。

◇6月30日碩心会温習会にもご協力願います。

会計部長 矢嶋悦岳

◇秋元前会計部長から引き継いで一年…本日  
無事決算の運びとなり、ご指導頂き感謝して  
いる。

二、平成二年度決算報告

並びに監査報告

矢嶋会計部長より報告があり、鈴木会計監  
査の適性であるとの報告があつて、二、三の  
質問と要望があつたが異議なく承認された。

又教本その他の特別会計の残高及び在庫員  
数と、55周年記念大会積立金の累計が報告さ  
れた承された。

三、平成三年度予算審議

矢嶋会計部長から予算案の詳細な説明があ  
り、若干の質問があつたが承認された。

四、その他

1 予算の内容から碩心会の会費値上げの必  
要ありとの意見に対して、その通りなるも  
今年は何とか現状でやってゆき、近い将来  
検討することになるうとの結論が出た。

2 入退会届を地区長を経て総務部へ提出す  
ることは、入会費と関連するので、従来通  
り各支部長から直接入会費を添えて総務部  
へ提出することとし、地区長へは電話等で  
速やかに報告することとする。

3 県役員への当会会員の推挙については会  
長が努力中なり。

（正・副議長及び書記解任）

以上を以て議事終了したので、正・副議長  
及び書記を解任、最後に中村幸岳常任理事の  
閉会の辞にて8時45分理事会を終了した。

宇都宮徳風記

### 第12回 横須賀第二地区大会に参加

去る6月9日、鎌倉市中央公民館分館に於  
て行われ、碩心会から役員吟詠3・独吟15・  
合吟17・詩舞吟3・連吟コンクール5の合計  
40題、三百人近い参加がありました。

尚連吟コンクールは12組中5位迄入賞で、  
碩心会から左記2組が入賞されました。

二位（一色A）川口喜美子 鈴木洋子  
五位（堀内・F）袴田政子 押山照子

### 第16回 青少年大会に参加

去る6月16日、横須賀労働センターに於て  
行われ、碩心会から賛助出吟2題と、役員吟  
詠は左記の通り。

賛助・合吟 生田に宿す 中村愛岳他3名  
" 偶感 中村幸岳他2名

役員・合吟 神州 加藤岳相 他  
千葉劔岳

## 第15回 碩心会吟道温習会終る

6月30日(日)9時30分より、鎌倉市中央公民館分館に於て行われました。梅雨どき故心配していた雨もなく、三百余名参加のもと無事終了しました。

合吟コンクール(5人一組)に十二組が参加、左記五組が入賞されました。

- 1位・(堀内・F) 曾村静子 矢嶋時子  
大坪克子 池田敏子  
鈴木美佐子
- 2位・(逗子A) 村井知子 田中好子(代)  
安田好子 森久美子  
米山茂子
- 3位・(一色A) 秋吉美代子 川口喜美子  
角田登志子 鈴木洋子  
奥野敏子
- 4位・(真澄) 森はるみ 星野輝子  
嶋津幸子 小金美智子  
服部きく
- 5位・(真澄) 菊池早苗 新井順子  
高橋之子 武藤ちよ  
宮下つや子

## 合吟コンクールに参加して

詩吟の仲間入りして五年有余、今回初めてコンクールに参加させて頂きました。どの吟もすばらしい出来栄で、参加者の詩吟に対する意気込みを感じ、心からの敬意を払うものです。

そこで、審査についての感想と希望を少し述べてみようと思います。審査委員長から、総括的に参加者のレベルが年々向上して、甲乙がつけ難いこと、順位はほんの僅差で決定したこと、そして入賞の吟について順位と得点の発表がありました。

私達は残念ながら選にもれてしまいました。でも普段よりはよくできたと自負しておりました。又、何人かの指導者の先生方からおほめの言葉を頂きました。そこで希望を述べるならば、個々の吟について批評が欲しかったのです。順位も、点数も、何もわからずに終わってしまったわけです。

入賞の吟について、どんな点が評価されたかを点数と同時に発表し、選外の吟については、公表の必要はないと思うので、点数も含

めて、簡単な批評を文書で知らせて頂きたかったと思いました。今までのように、ただ駄目だっただけでは、再度コンクールに参加しようという意欲を失ってしまいます。より向上し、精進しようという気持ちが出るようにするためにも、是非審査結果の発表方法を、考慮して頂きたく筆をとりました。意のあるところを汲んでいただければ幸いです。

(匿名希望)

## 県本部主催 指導者講習会

とき・8月18日(日)

ところ・防衛大学中講堂

## 県本部主催 吟行会

さきに「碩心」2月号でお知らせしましたが、期日が左記の通り変更になりました。

10月21日(月)～10月24日(木)

(碩心会参加予定者) ○男 △女

- 加藤岳相 ○千葉劔岳 △中村愛岳 △森田曉岳
- 森田嶺岳 △村田滯岳 △白井麗岳 △佐竹扇岳
- 木村松風 △重松由岳 ○宇都宮徳風 ○松井正風
- 大屋正風 △福本香山

練吟  
メモ  
青少年の吟

○毎年実施される全国青少年吟道大会のプロ  
グラムの吟題を見て思うのであるが、青少年  
にふさわしくない漢詩をどうして吟じさせる  
かということである。一例を挙げれば、平成  
二年の神静地区大会では、第一部の31題中3  
題が「海南行」の合吟で、吟者の年齢は7歳  
から13歳まで。いずれも所属の会は神奈川県  
本部である。(この回の大会に限らない)

○海南行の作者細川頼之は、ご承知のとおり  
南北朝時代の武将。文武の道にすぐれ足利將  
軍に重用された。しかし、晩年功業の成しが  
たいのを知り、四国に帰る時の心境を漢詩に  
託した。戦乱の世であるにもかかわらず、漢  
籍に通じ、禅道にはいった武人の深い心情を  
現代の10歳前後の少年がどこまで理解して吟  
じられるというのであろうか。当然棒暗記に  
過ぎないと思うし、無用の勉強であろう。  
○右プログラムのうち出吟頻度2以上は、朱  
熹の偶成をはじめ、勸学・九月十日・九月十  
三夜陣中作・道灌叢を借るの図に題す・桂林  
荘雜詠等である。さて、岳風会では一般用吟

詠教本のほかに、少年少女用教本二巻が出て  
おり、全国大会の出吟31題中の21題は、この  
教本から題を選んでいる。しかし、海南行・  
爾靈山・神州などの10題はこの二巻に含まれ  
ていないところに問題が存在すると思う。

○ここで筆者の提案であるが、少年少女、と  
くに中学生までは前掲多出の6題のうち3題  
までを漢詩の必修吟題とし、大会出吟も審査  
課題もこれに限定する。中学生は、できれば  
これに和歌「田児の浦ゆ」「東風吹かば」等  
(少年少女用教本所載)を加えたらどうか。  
さすれば、少年少女の(熟練に基づく)吟詠  
意欲を向上させ、加えて勉学上の負担をどれ  
だけ軽減するか計り知れないものがあると思  
われるがどうか。

○漢詩は、小学校では教えないが、中学二年  
の国語教科書に次の三首が出ている。

絶句(江碧にして) 杜甫

黄鶴樓にて孟浩然が広陵に

之くを送る 李白

涼州詞 王翰

教科書は中学校により異なる。詩吟は、世の  
変遷に順応した対策を講じないと、年を追っ  
て取り残されるものと危惧されてならない。

故事・ことわざ・名言

(以心伝心) …いしんでんしん

心から心に伝えることで、ことばや文字を  
使わずにお互いに心が通じ会うこと。意。禅  
宗で仏の法を多くの人に伝える場合によく言  
われる言葉。「意心伝心」と書くは誤り。

(一陽来復) …いちようらいふく

苦難の時が去って、運が開けはじめてくる  
こと。たとえ。陰曆十一月又は冬至をいう。  
また、冬が終つてようやく春がおとづれるこ  
とも用いる。

(傍目八目) …おかめはちもく

囲碁の言葉。対局を近くで見ている者は、  
碁を打っている者より、八目も先まで見通せ  
るということ。対局者同志が以外に気付かぬ  
失策も、第三者の目からは、案外よく見える  
ものである。

(入会)

622 天野敏子 逗子市桜山八一四一十一

(銀詠) 電〇四六八一七三〇七五八

(退会)

523 寺嶋俊男(逗子B)